

鳴尾インフォメーション

INFO 01 武庫川団地前駅前に
商業施設『ムコダンモール』開業!!
高須東小学校跡地に全11店舗

西宮市からの貸付による市有地活用事業の事業者として選定された阪神電鉄が、阪急阪神不動産、UCMとともに開発した地域密着型商業施設「ムコダンモール」がオープン。飲食・物販・クリニック・フィットネスなど幅広い業態の店舗が揃っています。



INFO 03 おでかけのお供に!
Lavy's Caféのテイクアウトと
鳴尾いちご入りクッキーを販売

駅改札前のLavy's Caféでは、お料理をはじめドリンクやパンケーキなどのテイクアウト商品を数多くご用意。また、武庫女学生がキャンパスで大事に育てた『鳴尾いちご』入りクッキーを5月下旬から店頭で限定販売予定!おでかけのお供にぜひご利用ください。



INFO 02 阪神間の別宅・別荘で船場商家の暮らしを支えたモノや行動に注目
「阪神間モダンライフ」展開催中

武庫川女子大学附属総合ミュージアムは、阪神間の暮らしが織り込まれた近現代の着物や生活用品約3万6千件を所蔵。その中から、新たな試みとして船場商家の別宅での暮らしに踏み込み、阪神間の「モダンライフ」を提案します。

開催場所 武庫川女子大学附属総合ミュージアム
開催期間 ~2021年4月28日(水)まで/土日休館



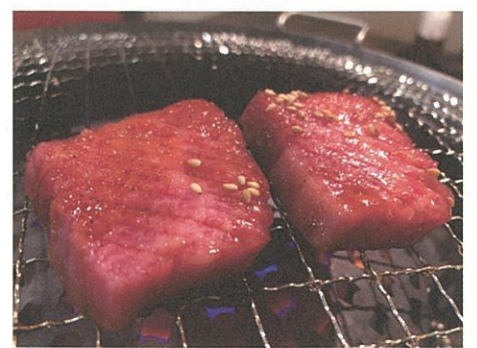
INFO 04 みどころいっぱいの
鳴尾・甲子園・武庫川団地を
電動自転車でラクラク移動

鳴尾周辺には黄色い自転車のマークのシェアサイクル「ハローサイクリング」の貸出・返却ステーションが充実。15分70円で電動自転車が片道だけでも気軽に利用できるの、歩くちょっと遠いなというときや少し足を延ばしたいときに上手に使ってみて。



イベントの詳細・お問合せ先等は、QRコードから各イベントのWEBページをご覧ください。 新型コロナウイルスの感染状況によってはイベントが中止になる場合がございます。

ランチ 第2回 どこ行く?



焼肉・ホルモン
牛萬 離れ



駅から歩いて8分。シックな階段を上がると隠れ家のような焼肉店がある。ランチ一番人気は「本日のお肉3種盛り」。トータル130グラムで、厚切り肉が8枚ほど。店主の石川社長は「肉は分厚い方が嬉しいでしょう」と、1切れずつ細かく切り目を入れていく。これでさらに柔らかい食感を楽しめるようになる。ごはんが止まらなくなるセットの牛タン煮込みも厚切り。脂ののったカルビがじゅわじゅわ焼ける振動をトングごしに感じて驚いたが、会社

が肉の卸を営むお店ということで納得。オープンしたのは5年前。コロナ前は学校や職場の仲間20~30人での貸切も多かった。今は、土日は近隣の家族連れで賑わうが、平日なら昼も夜も比較的入りやすい。駐車場がないので、電車利用でどうぞ。

牛萬 離れ
西宮市里中町1-6-12 Solution NARUOビル 2F
TEL.0798-49-0578
【営業時間】11:30~14:30/17:00~22:30/水曜日(2021年3月現在、~21:00に短縮営業中)

読者サービス! 希少部位がいろいろ入った期間限定の和牛カルビランチを1,280円で! ご注文の際、この「なるお通信」をご提示ください。(2021年8月末まで)

グルメ情報など阪神沿線のクチコミは
阪神ナウ

阪神電車
HANSHIN ELECTRIC RAILWAY

武庫川女子大学
Mukogawa Women's University

なるお通信 配布場所 阪神電車各駅、武庫川女子大学、Lavy's Café、知るカフェみなと銀行武庫川女子大学店、みなと銀行鳴尾支店、ライブ阪神鳴尾店、西宮市鳴尾支所・高須分室、なるお会館、幸壽楼、牛萬 離れ ほかに
<配布にご協力いただける場合は阪神ステーションネットまでご連絡ください。>

なるお通信 vol.2
(2021年4月発行)

「なるお通信 vol.3」は
2021年9月発行予定です。
お楽しみに!

発行 鳴尾エリアマネジメント連絡会
(株)エンリッシュン/(株)阪神ステーションネット/阪神電気鉄道(株)/(株)みなと銀行/学校法人武庫川学院/(株)ライフインベーション/(株)ライフコーポレーション (50音順)

制作 (株)阪神ステーションネット 大阪市福島区海老江1-1-31 ☎06-6347-6601
※なるお通信に関するお問い合わせ・情報提供は阪神ステーションネットまで

鳴尾エリア
マネジメント
連絡会

facebook

twitter

※バックナンバーをご覧いただけます。

女子総合大学で学生数日本一・Mukojoがある街

NARUO TSU-SHIN

なるお通信 Vol.2

なるお通信 vol.2

CONTENTS

特集:「学生のいる街、鳴尾」
武庫川女子大現役学生アルバイトスタッフに聞きました
鳴尾インフォメーション/ランチどこ行く?

TAKE FREE

なるお通信とは...
鳴尾エリアマネジメント連絡会が発行する、鳴尾に住む人も、住んでいない人も、思わず出かけたくなる鳴尾の魅力を発信するミニコミ誌

ライブ阪神鳴尾店にて

学生のいる街、鳴尾

武庫川女子大現役学生アルバイトスタッフに聞きました

鳴尾には、女子大で学生数国内最多の武庫川女子大学、そして、附属中学校・高等学校があります。学生のいる街にある、それぞれの学校のカラーを感じる独特の雰囲気。そんな雰囲気の元を、駅周辺で探してみました。



そこに武庫女があったから

「みなさまの足 阪神電車」ならではの
ホットなコミュニケーションが
無限に広がる

阪神電気鉄道
運輸部営業課

サノ カズヒロ
佐野 和弘さん



甲子園駅に勤務していた2014年12月、CS向上に地域の方と一緒に取り組めないかと、近くにある武庫川女子大学の附属高校に呼びかけたところ賛同いただき、「はんしん×ムコジョ乗車マナー向上委員会」を設立しました。本格的な活動は2015年4月からだったのですが、3月の卒業式の日、「高校だけで3年間、中学からなら6年間、阪神電車を使っていた」という感謝の気持ちで、駅のホワイトボードにお祝いのメッセージを書いて改札の横に置いてみました。

喜んでもらえたらいいなというくらいに考えていたのですが、卒業式が終わって、駅まで戻ってきた学生さんの驚き、感動した様子は今でも忘れられません。駅を利用する他のお客様にも「阪神は粋なことするなあ」と声をかけていただき、さらにはネットで大反響となって全国に知られるようになりました。

いい影響というのは伝播するもので、鳴尾駅(当時)で生まれたホワイトボードメッセージは、その後様々に形を変え、お客様に寄り添う阪神電車らしい手づくりメッセージをあちこちの駅で見かけるようになりました。そういえば、鳴尾・武庫川女子大前駅の辺りで阪神電車がグッと南側にカーブしているのも、開業当時に集落に「寄り添って」線路を敷いた名残でした。



学生の街らしさあふれる ライフ阪神鳴尾店

鳴尾・武庫川女子大前駅北側のライフ阪神鳴尾店。一見すると普通のライフですが、あちこちに学生の街らしさがあふれています。やはりというべきか、アルバイトスタッフにも武庫川女子大学の学生が多いそう。どんな仕事ぶりなのか、3人のスタッフに直接話を聞いてみました。

VOICE
01

みゆさん

2020年9月入社
レジ担当
週4日勤務



- ① 生活環境学部 情報メディア学科 1年
- ② 宝塚在住
- ③ 漫画を読むこと(ウェブ漫画にはまっています)
- ④ 丹波篠山に写真を撮りに一人で逃出した

VOICE
02

ななはさん

2020年8月入社
レジ担当
週3日勤務



- ① 食物栄養科学部 食創造科学科 1年
- ② 鳴尾在住(愛媛県今治市出身)
- ③ ロック音楽(好きなアーティストはONE OK ROCK)
- ④ 単位が全部取れていた!

VOICE
03

りのさん

2020年8月入社
食品担当
週4日勤務



- ① 文学部 英語文化学科 3年
- ② 鳴尾在住(地元)
- ③ フィルムカメラ(写真屋さんで仕上げるまでどう撮れているかわからないタイムカプセルのようなドキドキ感がいい)
- ④ 花粉症の薬が効かないこと

子供の頃からスーパーのレジ係の方が商品をスムーズにスキャンするのを見て、いつか自分もやってみたいと憧れていました。しかし、実際に働いてみるとなかなかうまくいかないもので、最初は緊張して挨拶が早口になったり、ポイントカードがたくさんあるのに混乱したり。それでも続けているうちに落ち着いて接客できるようになってきました。

実は子どもが苦手なのですが、ある子どもさんが1日に何回もよりによって自分のいるレジを選んで並び、とうとう「今度はいつの?」と聞かれたので正直に答えたところ、「じゃあまたその日に来るね!」。こちらは苦手だと思っていたのがいつの間にか慕ってもらえるようになったようでとても嬉しかったです。

お店のインスタでオススメ商品を紹介していると、見たよ!と友達に言ってもらえたり、自分から見て!と友達に伝えたりと、大勢のお客様にご利用いただいているお店でも実は一つひとつのコミュニケーションの積み重ねが大事なんだと感じています。阪神鳴尾店は社員も学生アルバイトもフレンドリーな人ばかりですので気軽に話しかけてください。あと、スマホアプリのクーポンはかなりお得なので使わないもったいないですよ!

武庫川女子大学に行きたい学部があったので、はるばる愛媛のしまなみ海道から鳴尾に引っ越してきました。しかし、せっかく大学生になったのに、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛でできることもあまりないまま、時間だけが過ぎていきました。このままではいけない!と、駅前建設中の建物がライフというスーパーで、関西の親戚曰くライフの従業員さんは感じがいいということだったので、開業のタイミングでアルバイトを始めました。

これまでアルバイト経験はあまりなく、最初は慣れずに商品を打ち忘れるなどミスもしましたが、社員の方が本当に優しくフォローしてくださったことで今まで続けてこれたと思っています。接客は大変ですが、自分の気づきでお客様に「ありがとう」と言ってもらえるとても嬉しく感じます。

鳴尾は幼稚園・小学校・中学校が近くにたくさんあり、子供たちが遊ぶ姿もみられるなど居心地の良い住みやすい街です。田舎出身の私は、梅田やなんばに20分くらいで行けることに感動しています。阪神鳴尾店は品ぞろえが豊富で、ワクワクするしかけいっぱい。私が通う食物栄養科学部が企業とコラボして開発した製品は、店内でも大々的にPRしており、なんとライフ全店の半分を1店舗で売り上げるほどなんです。

ライフは尼崎の祖母の家の近くにあったので、地元のスーパというイメージを持っていました。地元が鳴尾なので、阪神電車が地上を走っていた頃から知っていますが、以前は踏切があったところが高架になり、駅がきれいになり、マンションが増えてきたと思ったらライフまでできて、街がどんどん進化していくなあと感じています。

アルバイトを始めて半年が経ち、最近では目の前の仕事だけでなく、お客様が困るだろうなということに先回りして気が付くなど周りも見えるようになったと自分なりに成長を感じています。朝はテンションが低いのですが、それではいけないと思ってなるべく声を出すようにしていたら、お客様に「いい笑顔やな!元氣もらったわ!」と褒めていただくようになりました。

阪神鳴尾店は、武庫川女子大学のお膝元ということで、学生も大勢働いています。商品を試食して、リアルなおすすめポイントをオリジナルのPOPで紹介しているのですが、せっかくだからと独学ですがPOP作りも勉強したので、最初に比べるとかなりうまくなってきたと思います。店内のあちこちがあるので、商品選びの参考にさせていただきたいです。阪神甲子園球場やキッザニア等の見どころからも近いので、鳴尾にきたらぜひライフにもお越しください!

CHECK! ココに注目!

ライフ初となる店舗独自アカウントによるインスタでの情報発信を開業前から開始。手作り感のある内容にほっこりする。



CHECK! ココに注目!

大学と大手企業との共同開発商品を大々的にPRできるのも地元スーパーならではの。学生の研究内容を垣間見ることができる。



CHECK! ココに注目!

店内のあちこちに学生アルバイトスタッフの手書きPOPや音声でオススメ商品が紹介されている。



SHOP INFO

ライフ阪神鳴尾店

単身世帯が多く、10~40代の比率が高い地域特性を踏まえ、一般的には野菜や果物の並ぶ入口付近が、弁当やサラダの品揃えが充実のお惣菜コーナーになっている珍しいレイアウト。地元兵庫県の漁港から届く鮮魚に力を入れるほか、冷凍生地を使わず店内で焼く手づくりパンにもこだわっているとのこと。

ライフ
阪神鳴尾店
TEL.0798-40-6111
OPEN/9:00~24:00



MESSAGE FROM THE MANAGER



ライフコーポレーション
ライフ阪神鳴尾店
店長
クロダ ダイジ
黒田 大司さん

武庫川女子大学の学生アルバイトさんはみんな非常に頑張ってくれていて、仕事ぶりにはいつも感心させられています。POPや店内放送を作るときも、アルバイトだからと社員にただ言われたとおりにするのではなく、「このカレーパンに使っているお肉は何ですか?」と積極的に情報を集めてオリジナルのものを作り上げていくなど、主体性を持って取り組んでくれています。そんな皆様のおかげもあって、コロナ禍で厳しい状況ではありましたが、営業的に初年度順調な滑り出しができました。

これからも学生の街ならではの店づくりに努め、未永く地域に愛される店を目指してまいります。また、いろいろ特徴のあるお店なので、お近くの方以外でも鳴尾にお越しの際にはぜひお立ち寄りください。

interview

武庫女の先生に聞く

フジィ タツヤ
藤井 達矢 教授

武庫川女子大学
教育学部教育学科・
短期大学部幼児教育学科
幹事教授



美術家
武庫川女子大学のアート
環境を考える研究会 委員
西宮市文化まちづくり
推進委員会 委員

武庫川女子大学の教員、そして美術家として、ゼミ生と共にアートで鳴尾地域の賑わいづくりに取り組む教育学部の藤井達矢幹事教授。前号で三好庸隆教授が話していた、駅南側の公園の「ユニークな仕掛け」にも関わっておられるようです。

Q.これまで鳴尾地域でどのような活動をしてこられたのでしょうか。

A. 武庫川女子大学に着任以来、ゼミ生と共に「アートで人・社会をつなぐ」活動を続けてきました。鳴尾では地下道壁画「四季のファンタジー」(2007~)、阪神電車高架工事万能壁壁画「つながろう~里中列車ののって~」(2015~2017)、みなと銀行ロビー「アート・ポール展」(2020, 2021)などの取組みがあります。



Q.今年、鳴尾に新たなスポットが誕生するそうですね。

A. 2021年4月9日、『みんなのちっちゃなアートボックス』いわば「世界一小さな美術館」がここ鳴尾に開館(?)します。数年来、阪神電車鳴尾・武庫川女子大前駅を中心としたまちづくりの一環として「武庫女ステーションキャンパス」や駅前広場が整備されてきました。その広場の時計台の中に、地域の方々・子どもたち・武庫川

女子大学学生・教員など鳴尾地区に関わる全ての方が、それぞれの立場で表現し、思いを共有し、つながり、発信するための空間ができました。私は「武庫川女子大学のアート環境を考える研究会」(代表:三好庸隆教授)の一委員として、この計画にも関わってきました。その関係で、まずは「最初に使用例を示せ」ということで、拙作を展示させていただくこととなりました。

Q.展示される作品の紹介をお願いします。

A. 作品名は「営みの森」です。もちろん入館(!?)できませんが、あえて作品ジャンルを「インスタレーション」としておきます。壁も床も空間全てが一体となった作品です。祝箸を削った無数の樹木の中に電柱も紛れています。鳴尾の風景を走る電車、そして一本松も配しています。詳しい制作意図は、展示キャプションで見いただければと思います。『みんなのちっちゃなアートボックス』を通じて、アートで「みんな」がつながり、ともに明るい未来を見据えていきたいと思っています。

